新教出版社・新刊案内　2021 年 8 月 26 日発売

遺跡が語る聖書の世界

長谷川修一［著］

四六判・並製・300 頁・税込定価 2,310 円（本体 2,100 円）
ISBN 978-4-400-21331-4　C1016

モノから見えてくる暮らしの実相

聖書の世界の人々は、どんな住まいに住み、いかなる食生活を送り、何を着て装っていたのか？　また彼らが使っていた貨幣や暦は？　戦争ではどんな武器を使っていたのか？
聖書考古学の第一人者が、古代の人々の暮らしと社会をめぐる興味尽きないテーマを楽しく解説。聖書の読み方が一歩深くなる。
『福音と世界』好評連載の単行本化。

【目次より】

1 住まい
2 ワイン1
3 ワイン2
4 ビール
5 ファッション
6 パン
7 オリーヴ
8 碑文
9 紀年法と貨幣
10 エルサレム神殿
11 会堂
12 市壁
13 市門
14 列柱付き建造物
15 印章
16 契約
17 音楽
18 交易
19 葬送と墓制1
20 葬送と墓制2
21 葬送と墓制3
22 戦争1
23 戦争2
24 戦争3
あとがき
索引

長谷川修一（はせがわ・しゅういち）
1971 年生まれ。立教大学文学部教授。筑波大学大学院博士課程単位取得退学。テル・アヴィヴ大学大学院ユダヤ史学科博士課程修了。専門はオリエント史、旧約学、西アジア考古学。著書に『聖書考古学』『旧約聖書の謎』（中公新書）、『ヴィジュアル BOOK 旧約聖書の世界と時代』（日本基督教団出版局）、『歴史学者と読む高校世界史』（共編著、筑摩書房）、『謎解き聖書物語』（筑摩書房）、『旧約聖書〈戦い〉の書物』（慶應義塾大学出版会）など。